

新川小学校のESD活動

<活動の概要>

- ・研究主題 相手の想いに寄り添い、よりよい社会を創り上げていく子どもの育成
～地域と連携した問題解決学習の実践を通して～
- ・地域と連携してESDを実践し、人との関わりやつながりを大切にする子を育む。
- ・地域への誇りや愛着の育成を活動の柱に据え、①学年を超えて交流する校内での活動、②地域のお店や事業所、ボランティアで活動している地域のかたがたから学ぶ活動を行った。

・活動の実際

① 異学年と関わる活動

○ なかよし班遊び

※縦割りの「なかよし班」を編成し、「なかよし班」でゲームやレクリエーションを楽しむ「新川フレンドパーク」を年間通して施している。



6年生児童の感想から

「実際に人前に立ってみて、低学年の子たちをまとめるのが大変だとわかりました。」

「低学年の子が楽しめるようなゲーム企画を考えました。低学年の子の笑顔がうれしかったです。」

○ 学校行事（運動会）

※異学年の交流も目的の一つとした。応援合戦などを全学年縦割りの紅白対抗として、6年生を中心とした縦割り集団による主体的な活動として位置付けた。

② 地域と連携した活動

○ 地域連携活動「あいさつ運動」

○ 地域ボランティアによる「読み聞かせ」

○ 学校行事「感謝する会」



③ 地域の方々から学ぶ活動

○ 校外学習・出前授業

- ・全校図工 「お店をつくろう」
ー未来の水上ビルを考えようー
- ・1年生生活科 「公園探検」
- ・2年生生活科 「校区探検」
例：四九の市、お店探検
- ・3年生総合 「地域のよさに気づこう」
- ・4年生総合 「地域の問題に気づこう」
・筆づくり体験
- ・5年生総合 「地域で防災と福祉を学ぼう」
- ・6年生総合 「地域でSDGsを発信しよう」
- ・ひまわり学級 「地域のお店でお買い物」（生活単元）



4年 筆づくり体験